

WUBの課題について議論したパネル討論＝19日、上海市の上海復旦皇冠假日酒店

中国・上海 WUB世界大会

沖縄に地理的優位性

【上海19日仲井間郁江】第十一回WUB(ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション)世界大会が十九日、中国上海市の上海復旦皇冠假日酒店で開かれた。上海国際問題研究所学術委員会副主任の呉奇南氏が「中国・上海経済の躍進とこれからの沖縄」と題して講演したほか、WUBの今後の課題についてパネル討論した。



可能性探り パネル討論

呉氏は「沖縄は地理的に中国や韓国、ASEAN諸国に近く、東アジア全体を視野に入れた沖縄はビジネス戦略に合」と沖縄の優位性を指摘。「上海と沖縄では情報産業や、観光分野の人材育成関係などで協力できる可能性がある」と話した。

パネル討論では、ナカダマルクス氏(WUBポリア)、知念タニエル氏(ハワイ)、遠山光一郎氏(シンガポール)、上原秀樹氏(東京)、久高将和氏(沖縄)らがパネリストとして登壇。ロバート仲宗根氏(ハワイ)がコーディネーターを務めた。ナカダ氏は毎年開催さ

れる世界大会について「費用が高いため、収入の少ない若い人は参加できない。毎年ではなく二年に一度など資金をためて行けるようにすべき」と提議した。

世界各国で活躍するウチナンチュの連絡先などを紹介し、ウチナンチュ同士との交流を促進しようと四カ国語対応のサイトが開設された。対応言語は英語、日本語、スペイン語、ポルトガル語で、無料で見ることができると提議した。

WUB(ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション)のハワイ会員で、ウチナンチュ大使の田里シヨウ氏が提議し、県から百万円の助

情報収集 4カ国対応

成を受け知念タニエル氏が開設した。WUBではこれまで各支部でホームページを開設していたが、WUB全体を網羅するようなサイトはなかったという。十九日のWUB世界大会のITセミナーで知念氏が発表した。サイトには、WUB関係のイベントや移民の歴史を写真付きで紹介する「フォトギャラリー」や掲示板「フォーラム」などがある。各国で事業をする県系

WUB 共通サイト 開設

人の連絡先を掲載する電話帳「パープルページ」も開設に向け準備を進めている。開設者の知念氏は「ウチナンチュ大会や世界大会で各国から集まっても、その後の連絡が続かないという問題があった。それを解消したかった。ビジネスだけに限らず世界中で頑張る沖縄の人に使ってほしい」と述べた。サイトはhttp://uchinanchu.net/

だ」と提案。久高氏は「WUBが持続可能な組織として継続するために(会員ら)関係者がビジネスで利益を得ないといけない。各自が人的ネットワークを活用し、もっと各自が積極的に自社商品など売り込むべきだ」と述べた。

フロアからは「ビジネススマッシングの場を増やしてほしい」との意見や「ビジネススマッシングを促進するための専門職員など採用を提案する意見など」が出た。

特設セミナーで進出を呼び掛け【上海19日仲井間郁江】県は十九日、中国から沖縄への企業立地を促進しようと、中国上海市で「沖縄経済特区セミナー in 上海」を開催した。県の仲井間郁江部長が、情報、金融特区などの経済特区制度を紹介。若年者の労働力の豊富さや「地震の少なさ」なども沖縄の優位性として紹介し、沖縄への進出を呼び掛けた。

那覇港管理組合の堤敏郎常勤副管理者も那覇港の概要について説明。中国の福州や廈門から日本本土への物流の中継地点としての那覇港の活用を提案した。同日、同会場ではWUBの世界大会も開催されたことなどから、特区セ